

# 令和3年度筑上郡中学校バレーボール大会要項

1. 大会名 筑上郡中学校バレーボール大会
2. 主催 筑上郡中学校体育連盟  
筑上郡各町（学校組合）教育委員会
3. 共催 京築地区中学校体育連盟
4. 期日 7月3日（土）開場…8：00 監督者会議8：20～ 試合開始…9：00～

※開会式は行わず開始式を実施する。

5. 会場 椎田中学校 体育館
6. 参加制限 各中学校とも女子1チームとする。
7. 競技方法 4校によるリーグ戦とする。

## 8. 競技規則

- (1) 規則
- ・令和3年度日本バレーボール協会規則に準じる。また、福岡県中学校体育連盟申し合わせ事項、本大会の申し合わせ事項に準じて行う。
  - ・ネットの高さは、2.15mとする。
  - ・ラリーポイント制を導入。1セット25点マッチ。ジュースの場合は2点差がつくまで行う。

## (2) 試合球

- ・試合球は、各校とも4号カラーボール検定球（ミカサ MVA400）を1球準備する。  
（空気圧を300～325g/cm<sup>2</sup>に調整のこと）

## (3) 監督

- ・監督は当該学校の校長・教員とする。コーチは当該学校の教育職員とする。ただし、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けたものとする。
- ・ベンチには、監督（教員）・コーチ（教職員もしくは外部コーチ）各1名、選手12名、生徒マネージャー1名以外は座れない。  
（上記以外の生徒/教職員及び保護者の応援は、ベンチ以外で行うことを厳守。尚、椅子は9準備する。）

## (4) 審判

- ・審判は、外部関係者に依頼する。
- ・線審・得点係は試合のない2チームから3名ずつ出す。

## (5) 申し合わせ事項

- ・ハンドリング・プロトコールは県中体連申し合わせ基準。
  - ・セット間の休憩は、すべて3分間とする。
  - ・次の試合は、前の試合が終わって10分後にプロトコールを行う。試合間の練習は自由。セット間は、コートの外で練習してもよい。
9. 表彰 1位 賞状・優勝旗・笠原杯 2位 賞状・笠原杯  
賞状：大1枚、小13枚；準優勝大1枚、小13枚

## 11. 試合方法及び組み合わせ（抽選は当日）

〈リーグ戦〉

Aコート

第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
1-2	3-4	1-3	2-4	1-4	2-3

試合中、Bコートは使用しないものとする。また、試合の補助員は試合のない2チームが行うこととする。

1 [ 中] 2 [ 中] 3 [ 中] 4 [ 中]

〈結果表〉

	椎田	築城	上毛	吉富	勝敗	順位
椎田						
築城						
上毛						
吉富						

## 12. その他

### (1) 同率首位の場合の順位決定法

- ① 同率首位チームの間で [総得セット数-総失セット数] の多い順。
- ② ①で同セットのチーム間で [全試合の得点-失点] の多い順。
- ③ ②で同点チームの間で直接対決の勝者

### (2) 会場での練習時間の設定について

Aコート Bコートの組み合わせは抽選で決める。

### (3) 選手宣誓

- ・前年度優勝校 [上毛中学校] が行う。  
（前年度優勝校が出場しない場合は開催地区の開会式出場校が行う。）

### (4) 京築大会出場チーム数および開催場所

- ・1位、2位の2チーム
- ・日時：7月17日（土）7月18日（日）
- ・開催場所（1日目）：今元中学校・行橋中（2日目）今元中

※福岡県中学校体育連盟では個人情報の保護に努めています。携帯電話等で撮影した画像・映像を Youtube や SNS に無断でアップされることのないよう注意してください。

- 会場・受付
  - 会場出入り口や受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
  - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
  - 館内に入場できる生徒は、登録メンバーと生徒マネージャーのみとする。ただし、会場周辺の生徒役員についてはその限りではない。
  - 保護者の入場は会場の指示に従うこと。入場の際には着換えて準備した「〇〇中保護者」と記載したIDを提示し、チェックリスト記入、検温、手指消毒、マスク着用の上入館する。
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後2週間保管すること
  - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
  - 利用当日の体温
  - 利用前2週間における以下の事項の有無
    - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
    - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
    - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
    - 嗅覚や味覚の異常
    - 体が重く感じる、疲れやすい等
    - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
  - 体調がよくない場合（発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
  - 感染対策に係る用具は、手袋を含め各校で準備する。専門部でも準備はするが、貸出等は行わない。
  - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
  - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
  - ベンチスタッフもマスクを着用すること
  - オンコート時以外は3層マスクを着用することを推奨する。
  - 審判員はマスク着用の上、ホイッスルを使用する。
- 大会参加前後の留意事項
  - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
  - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 大会中の注意事項
  - 各試合の後、審判員はボール、フレッグの消毒を行うこと
  - 握手、ハイタッチなど接触を伴う行為を禁止すること
  - 円陣を組まないこと
  - 観戦やベンチ入り後、応援席にいる生徒の声を出しての応援や鳴り物による応援は禁止する。
  - コートチェンジの際は、ベンチのイスは使用者が帰って移動し、試合終了後にチームで消毒を行う。
- 手洗い
  - 1試合ごとに手洗いをすること
  - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
  - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
  - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
  - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
  - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
  - 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
  - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
  - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
  - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
  - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
  - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
  - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）

- 飲食物の提供時
  - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
  - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
  - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理（適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること）
  - 入場可能人数は、選手や役員と同数を上限とする。（最大12名）
  - ただし、緊急時の対応等に不安がある場合はその限りではない。
  - また、試合間やセット間における保護者の出入りは可能であるが、応援サイドは交代しない。
  - 各チーム1名のみビデオ撮影を許可する
  - 大会関係者や保護者同士が密な状態にならないようにすること
  - 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
  - 鳴り物による応援は禁止とすること
  - 会話をする場合にマスクを着用することなどの留意事項を周知すること
- 大会会場
  - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
  - 換気設備を適切に運転すること
  - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
  - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
  - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること